

平成27年度

事業報告書

社会福祉法人長岡東山福社会

平成27年度社会福祉法人長岡東山福祉会重点施策及び運営方針に基づき、次の事業を実施した。

【社会福祉法人長岡東山福祉会本部事業】

1. 事業運営の成果

(1) 理事会の開催状況

開催日	出席者数	提出議案
5月26日	理事8/9名 (監事2/2名)	<ul style="list-style-type: none"> ・特別養護老人ホームかつぼ園改修工事入札結果について(報告) ・社会福祉法人長岡東山福祉会平成26年度一般会計・特別会計の予算流用について(報告) ・社会福祉法人長岡東山福祉会平成26年度事業報告及び一般会計・特別会計の決算、並びに監査報告について ・社会福祉法人長岡東山福祉会危機管理体制規程の全文改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会就業規則の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会給与規則の一部改正について ・デイサービス花の里かつぼ共用型認知症対応型通所介護(共用型介護予防認知症対応型通所介護)運営規程の一部改正について ・長岡市地域包括支援センターふそき長岡市地域包括支援センター(介護予防支援)運営規程の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会入所基準の全文改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会評議員の退任及び後任評議員の選任について
12月24日	理事9/9名 (監事2/2名)	<ul style="list-style-type: none"> ・特別養護老人ホームかつぼ園内装改修工事完了について(報告) ・平成27年度社会福祉法人長岡東山福祉会指導監査の結果報告について(報告) ・平成27年度社会福祉法人長岡東山福祉会第1次補正予算について ・ホームヘルプサービス事業かつぼ園の事業廃止について ・社会福祉法人長岡東山福祉会個人情報に関する基本方針の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会準職員等就業規則の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会給与規則の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会準職員等給与規則の一部改正について

開催日	出席者数	提出議案
12月24日	理事9／9名 (監事2／2名)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人長岡東山福社会育児休業等に関する規則の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福社会介護休業等に関する規則の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福社会慶弔規程の一部改正について ・特別養護老人ホームかつぼ園介護老人福祉施設運営規程の一部改正について ・短期入所事業かつぼ園短期入所生活介護（介護予防短期入所生活介護）運営規程の一部改正について ・デイサービスセンターかつぼ園通所介護（介護予防通所介護）運営規程の一部改正について ・長岡市デイサービスセンターふそき通所介護（介護予防通所介護）運営規程の一部改正について ・在宅介護支援センターかつぼ園居宅介護支援事業所運営規程の一部改正について ・介護プランセンターふそき居宅介護支援事業所運営規程の一部改正について ・デイサービス花の里かつぼ共用型認知症対応型通所介護（共用型介護予防認知症対応型通所介護）運営規程の一部改正について
3月25日	理事8／9名 (監事2／2名)	<ul style="list-style-type: none"> ・養介護施設従事者による高齢者虐待について（報告） ・平成27年度社会福祉法人長岡東山福祉第2次補正予算について ・社会福祉法人長岡東山福社会「特別養護老人ホームかつぼ園第2駐車場整備工事」に伴う入札執行等について ・社会福祉法人長岡東山福社会「特別養護老人ホームかつぼ園印刷機入替整備事業」に伴う入札執行等について ・社会福祉法人長岡東山福社会「ホームヘルプサービス事業かつぼ園」の事業廃止に伴う定款及び規則規程等の改正について ・社会福祉法人長岡東山福社会マイナンバー制度開始に伴う規程の制定について ・社会福祉法人長岡東山福社会就業規則の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福社会準職員等就業規則の一部改正について ・短期入所事業かつぼ園短期入所生活介護（介護予防短期入所生活介護）運営規程の一部改正について

開催日	出席者数	提出議案
3月25日	理事8/9名 (監事2/2名)	<ul style="list-style-type: none"> ・デイサービスセンターかつぼ園通所介護（介護予防通所介護）運営規程の一部改正について ・長岡市デイサービスセンターふそき通所介護（介護予防通所介護）運営規程の一部改正について ・長岡市デイサービスセンターふそき認知症対応型通所介護（介護予防認知症対応型通所介護）運営規程の一部改正について ・デイサービス花の里かつぼ共用型認知症対応型通所介護（共用型介護予防認知症対応型通所介護）運営規程の一部改正について ・平成28年度社会福祉法人長岡東山福社会事業計画並びに当初予算について ・社会福祉法人長岡東山福社会評議員の選任について

(2) 評議員会の開催状況

開催日	出席者数	提出議案
5月26日	17/19名	<ul style="list-style-type: none"> ・特別養護老人ホームかつぼ園改修工事入札結果について（報告） ・社会福祉法人長岡東山福社会平成26年度一般会計・特別会計の予算流用について（報告） ・社会福祉法人長岡東山福社会平成26年度事業報告及び一般会計・特別会計の決算、並びに監査報告について ・社会福祉法人長岡東山福社会危機管理体制規程の全文改正について ・社会福祉法人長岡東山福社会就業規則の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福社会給与規則の一部改正について ・デイサービス花の里かつぼ共用型認知症対応型通所介護（共用型介護予防認知症対応型通所介護）運営規程の一部改正について ・長岡市地域包括支援センターふそき長岡市地域包括支援センター（介護予防支援）運営規程の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福社会入所基準の全文改正について
12月24日	17/19名	<ul style="list-style-type: none"> ・特別養護老人ホームかつぼ園内装改修工事完了について（報告）

開催日	出席者数	提出議案
12月24日	17/19名	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度社会福祉法人長岡東山福祉会指導監査の結果報告について（報告） ・平成27年度社会福祉法人長岡東山福祉会第1次補正予算について ・ホームヘルプサービス事業かつぼ園の事業廃止について ・社会福祉法人長岡東山福祉会個人情報に関する基本方針の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会準職員等就業規則の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会給与規則の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会準職員等給与規則の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会育児休業等に関する規則の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会介護休業等に関する規則の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会慶弔規程の一部改正について ・特別養護老人ホームかつぼ園介護老人福祉施設運営規程の一部改正について ・短期入所事業かつぼ園短期入所生活介護（介護予防短期入所生活介護）運営規程の一部改正について ・デイサービスセンターかつぼ園通所介護（介護予防通所介護）運営規程の一部改正について ・長岡市デイサービスセンターふそき通所介護（介護予防通所介護）運営規程の一部改正について ・在宅介護支援センターかつぼ園居宅介護支援事業所運営規程の一部改正について ・介護プランセンターふそき居宅介護支援事業所運営規程の一部改正について ・デイサービス花の里かつぼ共用型認知症対応型通所介護（共用型介護予防認知症対応型通所介護）運営規程の一部改正について
3月25日	15/19名	<ul style="list-style-type: none"> ・養介護施設従事者による高齢者虐待について（報告） ・平成27年度社会福祉法人長岡東山福祉会第2次補正予算について ・社会福祉法人長岡東山福祉会「特別養護老人ホームかつぼ園第2駐車場整備工事」に伴う入札執行等について

開催日	出席者数	提出議案
3月25日	15/19名	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人長岡東山福祉会「特別養護老人ホームかつぼ園印刷機入替整備事業」に伴う入札執行等について ・社会福祉法人長岡東山福祉会「ホームヘルプサービス事業かつぼ園」の事業廃止に伴う定款及び規則規程等の改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会マイナンバー制度開始に伴う規程の制定について ・社会福祉法人長岡東山福祉会就業規則の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会準職員等就業規則の一部改正について ・短期入所事業かつぼ園短期入所生活介護（介護予防短期入所生活介護）運営規程の一部改正について ・デイサービスセンターかつぼ園通所介護（介護予防通所介護）運営規程の一部改正について ・長岡市デイサービスセンターふそき通所介護（介護予防通所介護）運営規程の一部改正について ・在宅介護支援センターかつぼ園居宅介護支援事業所運営規程の一部改正について ・介護プランセンターふそき居宅介護支援事業所運営規程の一部改正について ・デイサービス花の里かつぼ共用型認知症対応型通所介護（共用型介護予防認知症対応型通所介護）運営規程の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会理事の選任について ・社会福祉法人長岡東山福祉会監事の選任について

(3) 法人本部の取り組み

- ・事務局会議を定期的で開催し、法人運営に係る事項について協議や課題の洗い出し等を行った。
- ・労務管理に関するミニ研修会について昨年同様に実施した。また次世代のリーダーを育成する取り組みも計画的に実施した。
- ・公益的な自主事業活動として新たに10月から介護予防事業「お元気学校」を隔週で開催し、11名の地域の虚弱老人が参加され、認知症予防や閉じこもり予防のプログラムを提供した。「元気になる。」「はりあいになった。」と好評であり、継続とする。
- ・職員の意欲向上につながるキャリアアップ制度の見直しや社会情勢にあった適切な諸手当の支給要件等の見直しの検討を実施した。協議が必要な項目もあり次年度も継続して取り組む。

(4) 専門委員会

①人材育成委員会

職員の資質向上を目的として計画に沿って研修を実施した。また27年度は介護福祉士、介護支援専門員の資格取得研修を複数回実施し受験者の支援を行った。介護福祉士については一定の成果がみられたが、介護支援専門員については受講者が多数であったものの合格率は低く、研修の実施方法について課題が残った。

<資料> 研修内容

開催月	定期研修	職種別研修	資格取得研修
4	法人の理念再確認・27年度事業計画・予算について		
5	法人の規則規程 食中毒の予防・感染症予防に関する基礎知識（感染対策委員会主催）		介護支援専門員資格取得 1回目
6	リスク管理研修（リスク管理委員会主催） 身体拘束廃止（委員会主催） 介護保険制度の基礎知識（係長主催）		介護支援専門員資格取得 2回目 介護福祉士資格取得研修 1回目
7	権利擁護・虐待防止研修（係長主催）個人情報とプライバシー保護 接遇研修	事務職員研修 1回目	介護支援専門員資格取得 3回目
8	救急救命講習	相談員研修 1回目	介護福祉士資格取得研修 2回目
9	緊急時の対応（各部署に合わせた内容）	痰の吸引研修（特養介護職員）	
10	感染性胃腸炎・インフルエンザなどの感染症予防対策について（感染対策委員会主催） ターミナルケア研修（係長主催）	相談員研修 2回目	介護福祉士資格取得研修 3回目
11	介護保険制度の基礎知識 褥瘡予防 リスク管理	介護職員研修（1・2等級） 介護職員研修（3等級） 介護支援専門員研修 相談員研修 3回目	
12	メンタルヘルス研修（労働衛生委員会） 交通安全研修（安全運転管理者） 身体拘束廃止（委員会主催）	看護職員研修 事務職員研修 2回目	介護福祉士資格取得研修 4回目
2	「気付く力」～人が育つ・職場が変わる 付き力（外部研修参加報告）		
3	認知症ケア研修		

②法人防災委員会

10月に新人職員等を対象にした三拠点合同消火器訓練を実施し、初期消火活動の実技向上を図った。一方で、三拠点合同総合訓練は調整不足により実施できなかった。また職員への危機管理規程の周知徹底が十分図れなかったため、次年度の課題とする。

③入所検討委員会

入所基準に基づき年6回の委員会を開催し優先順位の検討を行った。入所基準が改正されたが、これまでと変わらず要介護度3、4、5の申込者が上位待機者となり順番に沿って受入れを行うことができた。

④サービス向上委員会

入所者（利用者）及び家族に対し満足度調査の結果と職員の自己評価の分析を行い、アクションプランで業務改善に関する進捗状況を報告することで、より改善の意識が高まった。また、複数事業所利用者にはアンケート用紙の色を変えて分かりやすくしたことと通所事業所は直接渡すことで回収率を上げることができた。今後は、自分で記入できない利用者及び高齢者世帯への調査の検討をしていく。

⑤広報委員会

各事業所の行事報告や情報誌などをホームページに定期的に掲載した結果、求人情報などの問い合わせがあり、入所申込みを受け付ける実績もあった。今後はホームページを求人説明会などで使用できるよう、より充実させていく。

東山通信は法人の自主事業や地域行事への参加の様子など、独自性に重点を置き従来の配布だけでなく、施設見学者などへの法人PRへ活用することもできた。

⑥納涼祭実行委員会

昼の部・夜の部ともに晴天のなか納涼祭を開催することができた。多数の入所者及び家族、200名を超える地域の方々から参加頂くことができた。ボランティアによる悠久太鼓やこどもジャンケン大会、大抽選会等の演目は盛り上がりを見せ、ナイアガラ花火では会場全体が静まり返るほどの感動を与えた。

また、職員間で密に連携・協力体制のもと実施できたことや各業者との折衝を重ねたことで経費の節減に繋がった。

(5) 職員の動向

家族の介護や自己都合の事由による退職者はあったが、介護職員については人数的には何とか確保できている。

介護福祉士の資格については介護職員の78%が取得しているが、社会福祉士や介護支援専門員など相談業務の携わる資格取得が進んでいない現状がある。

<資料>

①採用者・退職者数

単位：人（実数）

雇用形態	採用者数		退職者数	
	正規・準	パート	正規・準	パート
27年度	15	2	13	4
26年度	10	4	19	6

②資格保有状況（28. 3. 31 現在）

単位：人（実数）

区分	かつぼ園	福祉センターふそき	ケアセンター花の里	合計
総職員数	99	47	43	189
介護福祉士	59	24	28	111
社会福祉士	4	4	1	9
看護師	5	4	1	10
准看護師	4	2	3	9
管理栄養士	1	0	2	3
介護支援専門員	18	11	5	34

（6）地域連携等に関すること

①花華クラブ

- ・ケアセンター花の里かつぼのガーデン管理を中心に今年度も活動を行った。参加人数も増え定期的に草取りや花柄摘み等を行うことで、利用者が楽しめる花壇となった。
- ・公開を目的とせず大学の教育施設として造られた恵泉蓼科ガーデンの視察研修を実施した。ガーデン長の小沢さんから設立の目的から日常の手入れの方法まで丁寧に説明を受け、参加者全員が感銘し大きな刺激を受けた。
- ・ラベル立てを行う予定であったが、準備が間に合わず実施できなかった。

<資料>

月	実施回数		延べ参加人数		27年度の内容
	27年度	26年度	27年度	26年度	
4	2	2	20	17	春の花苗とガーデン管理・ガーデン管理
5	2	2	26	19	胡蝶ランの植替え・アイの植え付けとガーデン管理
6	2	2	29	25	夏の草花の楽しみとガーデン管理・宿根草の台切りとガーデン管理
7	3	2	25	25	研修旅行（恵泉蓼科ガーデン）・暑さに元気な花種の袋詰め（雨天）
8	2	2	25	21	藍染め・秋花のラベル立てとガーデン管理
9	2	2	22	23	ジャーマンアイリスの移植・ガーデン管理
10	2	2	28	23	秋植え球根とガーデン管理・ガーデン管理（冬仕度）
11	2	2	25	24	花華カレンダーづくり・コケ玉作り

月	実施回数		延べ参加人数		27年度の内容
	27年度	26年度	27年度	26年度	
12	2	2	29	26	花華カレンダー作り・葉ボタンの正月飾りと忘年会
1	0	1	0	14	※感染症予防のためお休み
2	0	0	0	0	
3	2	2	23	21	種の袋詰め・ガーデン管理と春花
合計	21	24	252	238	

②レインボー健康体操

- ・指導有資格職員の積極的な研修参加により質の維持向上を図るとともに、新たに2名が資格を取得し、介護予防と地域貢献の体制を強化した。
- ・定例教室における参加者が前年度比167.0%、指導職員が出向する団体参加者は新規派遣の増加もあって前年度比131.4%となった。宣伝と口コミによる効果と地域住民の健康に対する意識の高さがあったの結果と思われる。
- ・3回目となった懇親会は前年度を超える参加を得た。参加者同士の親睦と当方職員の交流を深めるいい機会となった。
- ・定例教室アンケートは39名の協力を得、集計結果を掲示して公表した。分析した課題に対する改善策は次年度の取り組みとし前述の懇親会で方向性等について報告した。
- ・昨年に引き続き行った体力測定（5種目）は、定例教室開催日と別設定としたことで15名の参加に止まってしまった。測定後の評価は丁寧に行えたが、測定者の増加に向けた検討を必要とする。
- ・緊急時に備えた個人台帳の整備は継続しているが、体調不良や急変がない状態を維持できている。

<資料>

ケアセンター花の里かつぼ

月	実施回数		延べ参加人数		月	実施回数		延べ参加人数	
	27年度	26年度	27年度	26年度		27年度	26年度	27年度	26年度
4	2	2	16	17	10	2	2	15	16
5	2	2	14	13	11	2	2	13	12
6	2	2	18	12	12	2	2	14	14
7	2	2	16	16	1	2	1	18	8
8	2	1	16	6	2	2	2	16	17
9	2	2	17	20	3	2	2	15	18
合 計						24	22	188	169

高齢者センターふそき

月	実施回数		延べ参加人数		月	実施回数		延べ参加人数	
	27年度	26年度	27年度	26年度		27年度	26年度	27年度	26年度
4	4	4	97	83	10	5	5	147	140
5	5	5	124	112	11	4	4	98	109

月	実施回数		延べ参加人数		月	実施回数		延べ参加人数	
	27年度	26年度	27年度	26年度		27年度	26年度	27年度	26年度
6	4	4	104	81	12	4	4	94	84
7	5	4	129	84	1	4	4	96	102
8	4	5	93	95	2	4	4	105	98
9	4	4	112	107	3	4	4	116	92
合 計						51	51	1,315	787

近隣地域老人会等

団体名	実施回数		延べ参加人数	
	27年度	26年度	27年度	26年度
美園友美会（川崎地区）	9	11	244	293
東栄・琴平 地域の茶の間（川崎地区）	2	3	23	36
愛宕 地域の茶の間（川崎地区）	2	2	28	27
稽古町 地域の茶の間（川崎地区）	5	3	47	32
若葉会（川崎地区）	4	0	76	0
さくら会（千手地区／千歳団地）	12	12	117	144
村茶屋（百束地区）	1	1	13	12
楽天茶屋（新組集落開発センター）	2	2	45	68
新保2丁目福祉部会（新保地区）	1	1	28	26
新保3丁目福祉部会（新保地区）	2	0	29	0
新保5・6丁目福祉部会（新保地区）	2	3	19	26
稲葉シルバーハウジング（稲葉地区）	0	1	0	10
なかよし会（富曾亀コミュニティセンター）	0	1	0	18
永田和朗会（永田公民館）	1	0	29	0
加津保楽生会（加津保公会堂）	1	1	11	15
山本コミュニティセンター	0	1	0	20
亀崎町有志サークル（亀崎町公民館）	21	0	205	0
栖吉いきいきクラブ（栖吉地区）	1	0	20	0
はつらつ広場（栖吉地区）	1	0	22	0
合 計	67	42	956	727

その他

団体名	実施回数		延べ参加人数	
	27年度	26年度	27年度	26年度
レインボー花の里・ふそき教室参加者懇親会	1	1	28	17
〃 体力測定	1	1	15	29
レインボーイベント型教室	1	0	35	0
合 計	3	2	78	46

③花壇イベント

例年大勢の地域の方々やご家族からの参加があるが、今年度は両日とも天候に恵まれず入居者、家族等が減少した。また、地域との交流を継続するため、6月から9月までケアセンター花の里かつぼの園庭の草取りを呼び掛け、多くの方にご協力をいただいた。

<資料>

単位：人（延べ数）

	時季	参加人数	時季	参加人数	合計
27年度	春	58	秋	61	119
26年度	春	67	秋	67	134

④講師派遣（アクティビティ、介護保険講義、栄養講義等）

派遣先団体名	実施回数		延べ参加人数	
	27年度	26年度	27年度	26年度
桂寿会（桂町老人会）	6	5	76	61
なかよし元気会（富曾亀コミュニティセンター）	7	1	83	20
栖吉地区住民（栖吉コミュニティセンター）	0	1	0	24
長岡大学経済学部	0	2	0	32
北陸福祉保育専門学院介護福祉学科	1	2	30	21
新潟県シルバー人材センター連合会	1	1	20	18
百束茶屋（百束公民館）	0	1	0	20
和朗会（永田老人会）	0	1	0	20
糸魚川地域振興局	0	1	0	19
楽天茶屋（新組集落センター）	0	1	0	25
浦瀬町町内会自主防災会	0	1	0	80
ひまわりの会（高齢者センターふそき）	9	12	130	218
ふれあいサロン（山本コミュニティセンター）	2	0	11	0
新保4丁目福祉部会	1	0	25	0
稲葉シルバーハウジング	1	0	9	0
はつらつ広場（栖吉地区）	1	0	20	0
合 計	67	29	404	558

（7）その他

①役員研修の実施

今回は、石川県金沢市を中心として様々な先駆的な取り組みを実践し、数多くの事業所を経営している社会福祉法人北伸福祉会朱鷺の苑グループの特別養護老人ホーム金沢朱鷺の苑を視察した。居住空間が広くとられており、多くの入居者が集うことができるスペースも数多く設けられていた。理事長のこだわりが施設内の随所にみられ、法人の意識を統一する工夫など学ぶべき点があった。

②地域向け研修会（東山かいらく教室）の開催

地域福祉の拠点施設として7回目となる東山かいらく教室を昨年度に引き続き山本コミュニティセンターで開催し16名の地域の方から参加いただいた。内容としては27年度に大きく改正された介護保険制度についての講義とレインボー健康体操を実施した。事前に地域の集まり等にも出向き広報活動を実施したが、参加人数の増加には繋がらなかった。次年度はこれまでの反省から講師が出向く形式へ変更する。

③子ども参観日

第2回目となる参観日には小学3年生から中学1年生までの職員の子ども達6名の参加があり、「介護の仕事」「車椅子の操作方法」を学んだ後で、親の働く事業所で活動を実施した。参加した親子からは「親の仕事がわかって良かった」「子供の違った面が確認できた」という意見を得ることができた。次年度はさらに工夫を凝らして実施する。

2. 経営管理

経年劣化している特養かつぼ園の内装改修工事を実施し生活空間の環境を整えた。更にオゾン発生器を設置し脱臭、除菌等に努め感染症等の蔓延を防ぐことができた。また、給食業務を外部委託としたことで人件費の抑制ができた。

介護保険制度の改正による介護報酬単価の減額や平均介護度の低下などの影響から収益の確保が難しくなっている。短期入所事業では、特養かつぼ園改修工事に伴い、受け入れられる利用者数の制限を余儀なくされたが、全体的には前年度並みの稼働率は確保できた。通所介護事業については、利用ニーズの多様化が生じ個別広報誌の作成等PRを実施したが、収益増加には繋がらなかった事業所もあった。

【拠点・特別養護老人ホームかつぼ園】

1. 事業運営の成果

(1) 事務課

- ・さくら会計からの指導内容を新会計基準研修時に再確認することで、個々がより理解を深めることができた。
- ・接遇に関する自己評価や他者評価を通じ、より良い接遇に努める意識が課員に定着した。また、拠点研修で接遇のポイントなどを発信し拠点内の接遇向上に貢献できた。

(2) 施設サービス課

- ・昨年度と比較し入退所数の増加による空きベット数の増加や平均介護度の低下の影響を受け収益が落ち込んだ。また加算取得についても連携不足から計画通りには実施できなかった。

① 1・2係

- ・利用者、家族と多くのコミュニケーションを図り、その方をより良く理解することが出来た。その結果、利用者の望む生活や楽しみのある生活を実現するためのケアプランを立案する事が出来た。
- ・介護職員、看護職員ともに利用者からの身体状況や生活上の心配事をゆっくりと傾聴

する事が出来た。その結果、信頼関係の構築に繋がった。又、身体上状況の変化が見られた時は家族へ迅速な対応を心掛けた。

- ・看取りケアについては、職員教育を実施し寄り添うケアの実現に努めた。同時に、家族へのケアも行うよう努めた。また、終末期プランへの作成についても介護・看護と連携を図りスムーズに行えた。
- ・「個々に合った排泄の取り組み」を継続し取り組んだ結果、1人ひとりに合った排泄のタイミングを掴むことが出来た。その結果、心地良い生活を提供する事が出来た。
- ・地域の行事や催事へ積極的に参加する事で交流を図る事が出来た。
- ・専門職として、知識の習得の為、事業所内研修への参加や課内学習会を実施した。また、外部研修へも積極的に参加し、職員へフィードバックする事で業務に活かす事ができた。

②医務係

- ・日頃の利用者の健康状態を把握し、体調の変化を医師へ報告することができ、的確な指示を仰ぎ速やかにケアに繋げることができた。
- ・利用者の今後見込まれる状態の変化を利用者あるいは家族に伝えていく事で、意志の確認をおこなってきた。その上で医師、他職種との連携を図り、安心して最期を迎えられるよう利用者に寄り添った看取り介護を実施した。
- ・全職種が共通意識を持ちノロウイルスの感染防止に努め、発症を防ぐことが出来た。またインフルエンザによる集団感染を防ぐため、早期対応を行った。

③給食係

- ・調理は委託業者に変更となり、年度当初は連携不足のため食材の硬さや食事形態等に問題があったが、積極的に意見交換を重ね改善に努めた。
- ・管理栄養士と委託業者が連携し、利用者のニーズや嗜好に沿い個別の好みに対応した食事提供を行った。また、季節感のある献立や全国の郷土料理を献立に取り入れ利用者に好評であった。
- ・他職種と連携し、利用者の健康状態に合わせた栄養ケア計画の作成を行ないカンファレンス記録の回覧・周知をすることで利用者個々に適した食事を提供することが出来た。

資料1 <入所者の状況>

①入退所状況

単位：人（実数）

状況	入所前の状況					合計
	在宅	長期間 ショート	老健等 他施設	病院	法人グループ ホーム	
27年度	12	5	10	2	0	29
26年度	9	8	5	5	0	27

退所の状況					
状 況	在 宅	施設で死亡 ※1 ()	協力病院 入院中死亡	病院等へ入院 のため退所	合計
27年度	0	29 (21)	1	1	31
26年度	0	24 (17)	1	2	27

※1 () ターミナルケア計画に基づき、施設内で看取りを実施した数

②年度末介護度別数

単位：人（実数）

年度	介護度	要介護度1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5	合計
	27年度		1	7	26	37	29
26年度		2	3	28	37	30	100

③月別利用数

単位：人（延べ数）

27年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	人数	2,981	3,066	2,980	3,100	3,053	2,992		
月	10	11	12	1	2	3			
人数	3,100	2,993	3,033	3,031	2,888	3,084			
26年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	人数	2,975	3,049	2,974	3,100	3,092	2,996		
	月	10	11	12	1	2	3		
	人数	3,073	2,976	3,085	3,083	2,794	3,075		

④介護度別利用数

単位：人（延べ数）

27年度	介護度	1	2	3	4	5	合計	平均介護度
	人数	619	2,397	8,905	14,027	10,353	36,301	3.86
26年度	介護度	1	2	3	4	5	合計	平均介護度
	人数	547	2,064	9,238	11,096	13,327	36,272	3.9

⑤日常生活動作

単位：人（実数）

生活動作尺度	区 分	27年度	26年度
移 動	独歩	2	4
	介助・介助具使用	8	13
	車椅子	90	83
食 事	自立	60	61
	見守り	0	0
	一部介助	24	19
	全介助	11	13
	経管栄養	5	7

生活動作尺度	区 分	27 年度	26 年度
排 泄 (日 中)	トイレ 自立	6	9
	一部介助	30	23
	全介助	4	7
	ポータブルトイレ・自立	1	0
	一部介助	4	9
	全介助	0	1
	オムツ	55	51
	フォーレ	0	0
入 浴	一般浴	10	17
	座浴	31	31
	特浴	59	52

⑥食事形態 (平成 28 年 3 月 31 日現在) 単位：食 (実数)

主食		副食	
米飯	25	普通	17
おにぎり	0	刻み	23
粥	68	超刻み	34
パン	2	ミキサー	21
流動食	5	流動食	5

資料 2 <余暇活動等>

①余暇活動の実績 単位：人

月	余暇活動内容	参加人数
4	花見ドライブ	6
	ふれあいタイム	17
5	すこやかともしび祭作品作り	6
	おはぎ作り	12
	ふれあいタイム	10
	散歩	7
	映写会	11
6	外出ドライブ	6
	すこやかともしび祭作品作り	4
	体操クラブ	18
7	すこやかともしび祭作品作り	10
	ふれあいタイム	7
8	盆供養会	30
	すいか割り大会	40
	すこやかともしび祭作品作り	10

月	余暇活動内容	参加人数
10	大運動会	37
11	外出ドライブ	6
	映写会	44
12	外出ドライブ	2
1	新年会	65
	絵馬づくり	42
	映写会	50
2	節分	37
	ふれあいタイム	75
3	春の訪れを感じる会	42
	彼岸供養会	30
	ふれあいタイム	19
合 計		643

②クラブ活動の実績

クラブ名	実施回数	延べ参加人数
調理クラブ	5	54
書道クラブ	11	93
歌謡クラブ	23	706
生け花クラブ	12	137
合 計	51	990

③特養花華クラブ参加状況（家族協力会協賛）

単位：人（延べ数）

月	実施回数	参加人数		内 容
		入所者	家族	
6	1	12	21	ジニアのプランター作り
7	1	12	9	風鈴短冊作り
8	1	12	4	ハイドロカルチャー
9	1	12	4	菜の花の種まき
10	1	12	11	ビオラのプランター作り
11	1	12	10	花華カレンダー作り
12	1	12	7	葉ボタンの植え付け
合計	7回	84	66	※4・5・1・2・3月は実施なし

（3）短期入所事業かつぼ園

- ・昨年度に引き続き、緊急時の連絡先の定期的な確認を実施・更新し活用した。
- ・年間計画に沿った野菜作りや味噌汁作りなどのアクティビティ活動を実践した。
また、おはぎ作りや笹だんご作りでは地域のボランティアの協力もあり、好評だった。
- ・入退所の自宅送迎時や、サービス利用時に家族及び利用者と密にコミュニケーション

を図る事により、ニーズの的確な把握に努めそれをサービス提供に反映することができた。

- ・利用者の定着の促進と稼働率向上のため、利用者の状態及び空室状況を介護支援専門員等関係機関に情報提供をすることで、稼働率の向上を目指したが目標としていた数字は達成できなかった。
- ・9月上旬には廊下と居室の改修工事の為、利用定員を半分に制限し運営した。その月の稼働率は大きく低下したが、その後の稼働率は順調に推移した。また改修したことでご利用者に心地よい環境を提供する事ができた。

資料<利用者の状況>

①市別利用数

単位：人・日（延べ数）

年度	長岡市		見附市		合計	
	人数	日数	人数	日数	人数	日数
27年度	1,279	7,600	54	275	1,333	7,875
26年度	1,273	7,527	56	365	1,329	7,892

②月別利用数（ ）内は予防短期入所生活介護利用数

単位：人（延べ数）

年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	27年度	人数	645 (8)	668 (8)	662 (12)	683 (13)	668 (10)		
月		10	11	12	1	2	3		
人数		676 (11)	656 (10)	651 (9)	648 (9)	591 (13)	651 (17)		
月		4	5	6	7	8	9		
26年度	人数	621 (14)	620 (15)	614 (16)	658 (9)	687 (7)	645 (20)	7,746 (146)	90.1%
	月	10	11	12	1	2	3		
	人数	622 (11)	659 (7)	700 (7)	653 (20)	599 (8)	668 (12)		
	月	4	5	6	7	8	9		

③介護度別利用数

単位：人（延べ数）

年度	介護度	要支援	1	2	3	4	5	合計	平均介護度
	27年度	人数	129	521	902	1,734	2,582		
26年度	介護度	要支援	1	2	3	4	5	合計	平均介護度
	人数	146	672	967	1,579	2,395	2,133	7,892	3.5

(4) デイサービスセンターかつぼ園

- ・居宅介護支援事業所に月1回以上訪問し実績報告や行事等の案内も含め事業所のPRを行い新規利用者の依頼が昨年度より多くあった。しかし、他界者・施設入所者が多く稼働率や実人数の増加には繋がらなかった。認知症ケア計画・個別機能訓練計画の作成により加算算定に繋げることができた。

- ・利用者個々の身体状態に合わせた通所介護サービス計画書を作成し、個々の状態に合わせてニーズに沿った援助に努めた。
- ・レインボー健康体操を能力別のグループで行い、残存機能の維持向上に努めた。
- ・レインボー健康体操インストラクター研修1名、認知症実践者研修3名、認知症管理者研修に1名参加し、他職員へ知識・技術の指導を実施し、職員の資質向上を図ることができた。
- ・居宅介護支援事業所や関係機関と情報を共有しながら連携を図り、利用者家族が安心して在宅生活を継続できるよう支援に努めた。

資料<利用者の状況>

①登録者数 単位：人（実数）

区分 年度	長岡市	見附市	合計
27年度	85	10	95
26年度	77	11	88

②利用者数 単位：人（延べ数）

区分 年度	長岡市	見附市	合計	稼働日数	1日あたり 平均人数
27年度	7,333	348	7,681	365	21.0
26年度	7,124	732	7,856	363	21.5

③月別利用数 ()内は予防通所介護利用数 単位：人(延べ数)

年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	人数	574 (66)	572 (72)	552 (68)	579 (63)	623 (55)	628 (67)		
27年度	月	10	11	12	1	2	3		
	人数	614 (63)	549 (63)	579 (66)	536 (55)	535 (71)	562 (69)		
26年度	月	4	5	6	7	8	9	6,983 (873)	86.2%
	人数	576 (84)	619 (99)	578 (96)	600 (104)	579 (90)	589 (83)		
	月	10	11	12	1	2	3		
	人数	617 (53)	584 (53)	609 (54)	553 (52)	512 (51)	572 (54)		

④介護度別利用者数

単位：人(延べ数)

27 年 度	介護度	要支援	1	2	3	4	5	合計	平均 介護度
	人数	768	1,359	2,290	1,812	563	879	7,681	2.61
26 年 度	介護度	要支援	1	2	3	4	5	合計	平均 介護度
	人数	868	1,758	2,064	1,471	692	999	7,856	2.59

⑤行事計画

単位：人(延べ数)

月	行事計画	参加人数
4	お花見ドライブ(悠久山)	51
5	ドライブ(宮路様)	42
6	ドライブ(花テラス)	55
	科学博物館	13
7	買い物ツアー	8
8	納涼祭	31
9	すこやかともしび	3
	敬老会	72
10	ドライブ(秋葉公園)	54
11	買い物ツアー	10
	ドライブ(道の駅 ^ハ テイオ新潟)	54
12	鏡餅作り	46
	クリスマス会	64
1	新年餅つき大会	46
3	節分	45
合 計		594

(5) 在宅介護支援センターかつぼ園

- ・利用者、家族の生活に視点をおき、出来ていることや出来そうなことを把握できるように丁寧なアセスメントを行い、保険外サービスも取り入れ、住み慣れた地域で自立した生活が送れるように居宅サービス計画書を作成した。
- ・医療機関やサービス事業所とも連携し、在宅で最期までその人らしい生活が送れるように看取りの支援や入退院時の連携を行うことができた。
- ・事業所内研修、個人研修の実施及び法人内居宅介護支援事業所との合同研修を開催し、

課題整理統括表についても学ぶことができたが、活用には至らなかった。

- ・介護保険制度改定内容及び地域の社会資源等について把握し、パンフレットの見直しも行い利用者、家族に情報の提供と適切な説明を行うことができた。

資料＜利用者の状況＞

①居宅サービス計画作成数

単位：件（延べ数）

27 年 度	月	4	5	6	7	8	9	合計
	件数	125	126	125	123	123	126	1,527
	月	10	11	12	1	2	3	
	件数	128	128	131	130	132	130	
26 年 度	月	4	5	6	7	8	9	合計
	件数	132	136	136	136	138	135	1,585
	月	10	11	12	1	2	3	
	件数	134	134	129	124	128	123	

②介護予防支援受託件数

単位：件（延べ数）

27 年 度	月	4	5	6	7	8	9	合計
	件数	13	17	20	18	18	17	211
	月	10	11	12	1	2	3	
	件数	19	17	17	17	20	19	
26 年 度	月	4	5	6	7	8	9	合計
	件数	10	11	12	13	9	10	116
	月	10	11	12	1	2	3	
	件数	10	9	9	7	9	9	

③訪問調査件数

27年度	208件	26年度	125件
------	------	------	------

2. ボランティア・実習生等の受け入れ

①ボランティアの受け入れ

区 分		27年度	26年度	
かつぼ園	定期	個人ボランティア	92	66
		団体(グループ)ボランティア	310	311
	随時	個人ボランティア	17	4
		団体(グループ)ボランティア	85	121
		保育園・学校等	133	127
	合計		697	629

②施設及び居宅実習・体験実習等の受け入れ

受入事業所	区 分	27年度		26年度	
		実人員	延日数	実人員	延日数
特養かつぼ園	北陸福祉保育専門学院 (介護福祉士資格取得)	7	203	7	203
	北陸食育フードカレッジ(職業実践実習)	8	16	22	48
	長岡こども・医療・介護専門学校	3	33	2	32
	国際こども・福祉カレッジ	1	17	1	17
	悠久山栄養調理専門学校 (栄養士資格取得)	2	20	4	20
	福祉体験学習(中学校)	0	0	10	10
	障がい者職場実習	2	16	0	0
	補導委託	0	0	1	3
	三幸福祉カレッジ(実務者研修)	1	3	0	0
デイサービス センター かつぼ園	北陸福祉保育専門学院(教員免許に係る介護等体験実習)	3	15	3	15
	北陸福祉保育専門学院 (介護福祉士資格取得)	11	18	8	8
	北陸福祉保育専門学校(職業実践実習)	15	15	9	18
	長岡こども・医療・介護専門学校	0	0	1	5
	国際こども・福祉カレッジ	1	3	1	3
	三幸福祉カレッジ	1	2	0	0
合 計		73	361	70	397

3. 拠点委員会

①リスク管理委員会

リスクマネジメントの基本的な考え方を学ぶことを基本とし、事故発生防止のための指針や事故発生時の記録の重要性とサービス計画書に沿ったサービス提供内容であることの確認を行うことが出来た。今後は、リスクに対する予測を認識しながら業務につけるよう、PDCAサイクルの浸透を重視した活動に取り組む必要が求められる。

②食事サービス委員会

嗜好調査やいきいき会を通じて、ご利用者から味付けや食事内容についての意見を集め、委託業者と連絡調整を図り、食事を楽しんでいただけるよう努めた。また、調整不足によりイベント食の実施ができなかったため、次年度は連携を密に行い実施する。

③防災委員会

「災害防護規程」を見直し、「危機管理体制規程」に名称変更を行うと共に、災害マニュアルの見直しを行った。防災研修は、今年度から「原子力防災」を取り入れた。避難訓練は日中想定・夜間想定と2回実施した。

④感染対策委員会

食中毒感染予防及び発生時の処理について年2回の定期研修で実施した。また、感染対策マニュアルの見直しを行い一部改定、新規作成も行った。インフルエンザ発症は職員5人、入所者2人が罹患したが、医師との連携・予防対策を厳重に行なうことで感染拡大を防ぐことができた。面会者へ手洗い・マスク着用等、感染予防の働きかけを徹底して継続した。

⑤労働衛生管理委員会

職員の定期健康診断を例年通り実施し、主に生活習慣病改善を目的として産業医から指導を受けた。また月1回の委員会開催時に各事業所の職員の健康状況や労働環境等について確認をおこなった。研修会については腰痛予防とメンタルヘルスについての内容で開催し、健康への意識付けを行った。

⑥身体拘束廃止委員会

27年度は各事業所毎のマニュアルを見直し追加項目の整備を行い、身体拘束廃止に向けて更に意識の向上に向けて取り組んだ。また、研修ではセンサーマット使用の事例を挙げてグループ検討を行い活発な意見交換により情報の共有の大切さについて再確認し、モニタリング方法の再検討等の課題が挙げられたため次年度に繋げたい。

⑦園芸委員会

施設玄関前の花壇整備を実践したが、日常的な管理については委員会として主導できなかった。

⑧痰の吸引等安全対策委員会

医師より痰の吸引の指示を受けているご利用者数がいなくなり、実際に痰の吸引をする場面は減ったが、必要時に対応できるように物品の点検管理を毎月実施し、職員に対して実技研修を行った。点検、研修は次年度も継続する。

4. 苦情（意見）内容

特別養護老人ホームかつぼ園	①内容	申出人 利用者の次女 通帳に入金されているはずのお金が入金されていない。(通帳に記載がない) 自宅にある出納帳には入金の記事があるのにおかしい。
	想定原因と処理	平成26年度の記録を見て勘違いされていたことが判明し、納得された。
	改善策(結果)	事務担当職員が不在の場合は、対応する職員は事実確認(金額、年月日等)し、持参された書類の控(写し)を取る等の対応をし、担当者に引き継ぐことにした。

特別養護老人ホームかつぼ園	②内容	申出者 利用者の長女 看護職員から身体状態の説明を受けたが業務的な対応に感じた。利用者の立場に立って説明して欲しい。(前記のご意見が面会カードに記載があり、事実確認が遅くなり謝罪等の対応が遅れた)
	想定原因と処理	身体状態について説明する際に、状態が低下している現実を受け止められずに混乱されている長女に対して、冷静な態度で説明したが、事務的な態度といった印象を与えてしまった。発覚後、すぐにご家族へ謝罪した。
	改善策(結果)	面会者の多い休日の夕方に面会カードの整理を行い、苦情に早急に対応できるようにした。 看護職員の対応について事実確認し注意指導を行った。
	③内容	申出者 本人の家族の知人 県外在住のご家族の代わりに身の回りの世話を頼まれていた知人や家族の許可なく、本人の希望を叶えるため外出した。本人の希望とはいえ許可をとって欲しい。
	想定原因と処理	担当職員がご利用者本人から「家族には黙っていて」と言われたことで、応じてしまったが、事故等のリスクもあるため、今後二度とこのような事がないように職員に注意指導を行い、ご家族へ謝罪した。
	改善策	ご家族の意向通りに対応を徹底している。
	④内容	申出者 ご利用者 毎月楽しみにしていた特養花華の活動に誘ってもらえなかった。
	想定原因と処理	用意された花材の数が限られているため、他のご利用者で一度も参加されていない方を優先したことで不快な思いを与えてしまった。事前に本人に説明を行わなかったこと、楽しみにされていた気持ちに沿えなかったことを謝罪した。
改善策(結果)	次回以降はできるだけ活動にお誘いしている。また花材については、事前に細かく分ける工夫を行い、より多くの方に参加していただけるよう対応している。	
デイサービスセンターかつぼ	①内容	申出人 長男妻 サービスを利用して帰宅すると便の臭いがした為、おむつ交換を行ったら前の方に便が付いていた。
	想定原因と処理	利用日前日に下剤内服をし、利用当日も排便が続くと思うとご家族から報告を受けていたが、排泄交換時陰部洗浄を行わなかった。
	改善策(結果)	今後そのようなことがないようにしっかり対応することを伝え、謝罪した。

デイサービスセンターかつぼ園	②内容	申出人 本人 デイから帰ってきたら自分の帽子ではない物が鞆の中に入っていた。前回利用時に送迎した職員が鞆の中を確認していたが、その時職員が入れたのか。なぜ鞆の中を確認されたのか説明がなかった。また、かつぼ園に行くと物がなくなる。
	想定原因と処理	他利用者のコートがなかったため、他の方の荷物に紛れ込んでいないか確認作業を行った時に、自分が疑われたと感じたのではないか。
	改善策(結果)	ご家族に電話で謝罪して事情を説明し、本人の持ち物で記録の無い物に名前を記入させていただくことを伝え了解を得た。また、本人には利用日に相談員が謝罪し、入浴時の衣類は脱いだ衣類と鞆を一緒にしておく対応を行うことで了解を得た。

5. その他

特別養護老人ホームかつぼ園において、職員による高齢者虐待の疑いが認められたため、内部調査等を行った。虐待行為は確認できなかったが、それに繋がる不適切なケアが一部の職員に認められた。職員全員に法人理念や利用者の尊厳という基本的かつ重要な事柄が浸透していなかったという反省に基づき、改善計画書を保険者へ提出し、事業所内の体制の整備と職員の意識改革に取り組んでいる。

【拠点・福祉センターふそき】

1. 事業運営の成果

(1) 長岡市デイサービスセンターふそき

- ・一般型の稼働率は、居宅介護支援事業所と連携を図りキャンセル待ちの利用者を確保したことで目標稼働率を超えることができたが、認知症対応型は実利用者数の減少もあり稼働率が低下した。
- ・一般型に新設された加算が算定できるよう体制を整え、通所介護計画に反映してサービス提供につなげた。アセスメント方法の見直しも行い、さらにより効果的にサービスを提供できるように努めたい。
- ・居宅介護支援事業所への実績報告時に、利用者の状況報告と空き情報と併せてかわら版やアクティビティ予定表の配布によるPRを行った。ケースがない事業所に対しても行ったことで新規ケースを獲得することができた。
- ・地域ケア会議への参加などにより、地域の関係機関との連携に努めた。
- ・認知症対応型における個別機能訓練は、測定方法を工夫することで利用者本人の意欲的な取り組みを図った。
- ・要望に応じて園芸・創作活動・外出支援等のアクティビティを実施した。
- ・自主事業として地域老人会等に向けて計画的且つ継続的に職員を派遣し、要望に沿って派遣先団体の活動の活性化と健康維持増進を支援した。
- ・学習会により介護技術等の質の向上を図った。また、新人職員の育成はマニュアルを見直し、継続的な育成のための研修体制を整え取り組んだ。

資料＜利用者の状況＞

①登録者数 単位：人（実数）

年度	区分	長岡市		合計
		一般型	認知症型	
27		121	29	150
26		119	35	154

②利用者数 単位：人（延べ数）

年度	区分	長岡市		合計	稼働日数	1日あたり 平均人数
		一般型	認知症型			
27		10,242	3,447	13,689	366	37.4
26		9,785	3,515	13,300	365	36.4

③月別利用数 （ ）内は予防通所介護利用数 単位：人（延べ数）

27 年度	月	4	5	6	7	8	9	合計 11,903 (1,786)	稼働率 89.0%
	一般型	707 (131)	729 (159)	730 (128)	731 (131)	712 (131)	696 (152)		
	認知症型	300 (0)	314 (0)	315 (0)	317 (0)	288 (0)	272 (0)		
	月	10	11	12	1	2	3		
	一般型	704 (160)	703 (158)	709 (171)	666 (159)	653 (158)	716 (148)		
	認知症型	298 (0)	286 (0)	292 (0)	249 (0)	259 (0)	257 (0)		
26 年度	月	4	5	6	7	8	9	合計 11,500 (1,800)	稼働率 86.8%
	一般型	611 (184)	630 (174)	641 (151)	702 (143)	690 (134)	671 (142)		
	認知症型	339 (0)	319 (0)	309 (0)	312 (0)	312 (0)	275 (0)		
	月	10	11	12	1	2	3		
	一般型	689 (149)	660 (148)	684 (142)	652 (140)	643 (136)	712 (157)		
	認知症型	294 (0)	280 (0)	271 (0)	255 (0)	253 (0)	296 (0)		

④介護度別利用数

単位：人（延べ数）

27 年 度	介護度	要支援 1	要支援 2	1	2	3	4	5	合計	平均 介護度
	一般型	383	1,403	2,448	3,395	1,278	1,021	314	13,689	2.3
認知症型	0	0	643	1,500	839	371	94			
26 年 度	介護度	要支援 1	要支援 2	1	2	3	4	5	合計	平均 介護度
	一般型	532	1,268	2,977	2,546	1,310	758	394	13,300	2.2
	認知症型	0	0	982	1,282	908	231	112		

⑤行事等の状況

月	行事内容	参加人数	
		27年度	26年度
4	お花見ドライブ	36	125
5	菖蒲湯	266	115
6	外出ドライブ	79	—
	ゲーム大会	—	137
7	ふそき夏まつり	115	105
9	長寿を祝う会	75	72
	すこやかともしびまつり見学	5	5
10	買い物・甘味・外出ドライブ	83	59
	コミュニティふそきまつり見学	5	7
11	山本コミュニティ芸能発表会見学	6	4
	博物館見学	—	31
12	クリスマス会	112	105
1	新年会	74	59
2	節分	80	70
3	春を迎える会	250	72
合 計		1,186 人	966 人

(2) 長岡市地域型介護予防デイサービス「ふそき元気塾」(長岡市委託事業)

- ・「運動機能向上プログラム」「口腔機能向上プログラム」「物忘れ予防プログラム」に沿って事業を実施し、新しい事にチャレンジできるよう支援した。また、介護予防自主事業への参加につながるよう働きかけ、生きがいのある生活を支援することに努めた。

資料<利用者の状況>

① 利用者数

単位：人（延べ数）

27 年 度	月	4	5	6	7	8	9	合計
	人数	103	88	119	118	98	101	1,314
	月	10	11	12	1	2	3	
	人数	118	110	123	98	110	128	
26 年 度	月	4	5	6	7	8	9	合計
	人数	108	113	129	144	115	120	1,455
	月	10	11	12	1	2	3	
	人数	124	121	104	122	119	136	

(3) 介護プランセンターふそき

- ・毎週1回の居宅会議と学習会において利用者の状態把握やケース検討を行い、より良い支援と担当不在時でも適切な対応が行えるように努めた。
- ・多職種と連携した総合的なケアマネジメントを図り、各種交流会等に参加した。
- ・職員個々の目標に合わせて外部研修に積極的に参加し、専門的知識の習得と向上に努めた。
- ・地域包括支援センターをはじめ急性期病院の医療相談室等と連携し、退院ケースの受け入れを円滑に行った。

資料<利用者の状況>

① 居宅サービス計画作成数

単位：件（延べ数）

27 年 度	月	4	5	6	7	8	9	合計
	件数	135	132	135	131	134	127	1,551
	月	10	11	12	1	2	3	
	件数	122	129	127	130	124	125	
26 年 度	月	4	5	6	7	8	9	合計
	件数	131	132	131	129	130	134	1,571
	月	10	11	12	1	2	3	
	件数	132	133	133	127	130	129	

② 介護予防支援受託件数

単位：件（延べ数）

27 年 度	月	4	5	6	7	8	9	合計
	件数	17	16	18	16	16	19	212
	月	10	11	12	1	2	3	
	件数	19	21	18	18	17	17	
26 年 度	月	4	5	6	7	8	9	
	件数	14	15	15	17	19	19	203
	月	10	11	12	1	2	3	
	件数	16	15	16	18	20	19	

③ 認定調査件数

27年度	177件	26年度	182件
------	------	------	------

（４）長岡市地域包括支援センターふそき（長岡市委託事業）

- ・関係機関との連携と地域の単身世帯・高齢者世帯を中心にした戸別訪問により、心身の状況及びその家族状況等の実態を把握するとともに介護ニーズ等を調査し台帳を整備した。

（台帳整備数 1,067件）

- ・一日当たり、包括的支援業務 6名・介護予防支援業務 4名の相談を受けた。
- ・地域包括的支援を担う職員としての資質を高めるため積極的に研修に参加した。
（研修数 47回・参加述べ人数 57名）
- ・地域包括ケア会議（圏域会議）を開催し、地域の課題を行政・地域住民と共に検討した。
- ・地域の福祉関係機関との連携は述べ 1,043回で、会議等への参加や助言を行った。

資料＜利用者の状況＞

①相談業務の状況

・相談人数

（単位：件）

年度	電話	来所	訪問	その他	合計	実態把握 年間案件数
27	1,525	376	1381	61	3,343	1,067
26	686	200	639	37	1,562	979

・相談経路

(単位：件)

年度	本人	継続	家族	民生委員	福祉機関	医療機関	地域機関	現況調査	行政機関	その他	合計
27	253	630	255	59	73	39	18	457	35	63	1,882
26	170	295	164	19	23	21	6	163	19	29	909

・相談内容

(単位：件)

相談内容		件数		
		27年度	26年度	
介護保険	認定関係	379	152	
	サービスの紹介	200	94	
	その他	423	170	
小 計		1,002	416	
介護保険外	介護方法や介護の悩み	53	36	
	医療・疾病関係	116	44	
	高齢者の介護予防	117	60	
	配食サービス	0	2	
	外出支援サービス	26	12	
	生活支援サービス	30	14	
	福祉機器	31	10	
	住宅の増改築	29	13	
	その他サービスの取次ぎ	72	33	
	虐待防止	1	0	
	権利擁護・成年後見	20	1	
	認知症・物忘れ	107	47	
その他	863	430		
小 計		1,465	702	
ケアマネ支援	ケアマネジメント	アセスメント	5	3
		ケアプラン	3	0
		サービス調整	4	2
		モニタリング	1	0
		担当者会議	0	0
	社会資源紹介	3	2	
	医療との連携	4	2	
	対人援助技術	2	0	
	制度の説明	7	0	
	個人の悩み	2	0	
	その他	6	3	
小 計		37	12	

相談内容		27年度	26年度
支援内容 (延べ件数)	情報収集	2	0
	内容整理・問題の明確化	4	2
	助言	32	8
	同行訪問	1	0
	会議	0	0
	経過確認	10	6
	その他	8	1
小計		57	17
合計		2,561	1,147

②介護予防支援実施人数（年間実件数）

年度	直営	委託	合計
27	67	201	268
26	103	147	250

③年間給付管理件数

年度	直営	委託	合計
27	590	1,653	2,243
26	916	1,319	2,235

④介護予防事業受付件数（実件数）

項目	27年度	26年度
介護予防事業参加実人数	81	43

⑤虐待対応件数

項目	27年度	26年度
虐待支援計画作成件数	6	20

(5) 高齢者センターふそき

- ・日常的な自主点検と館内清掃・消毒により安全確保と清潔かつ衛生的な管理に努め、専門業者に委託する施設設備保守は適切な実施をチェックし、老朽化に伴う不具合は修繕執行により積極的に解消した。
- ・来館者総数は減少し前年度比で94.5%となったが、映写会の参加数は大幅に増加した。継続して催し物の実施方法を工夫し集客を図ることが今後の課題である。
- ・地域に定着したレインボー健康体操教室の参加増は来館者数の増加につながっている。
- ・近隣幼稚園と連携し園児の大作を正面ホールに展示し、園児家族からも足を運んでい

ただいた。

- ・前年度同様に実施した利用者アンケートは結果を公表したが、分析及び改善策の検討が十分ではなかった。質の向上に向けて有効に取り組むことが課題となった。
- ・広報活動を強化したことにより周辺住民の新規利用が増加した。
- ・運営体制（人員）に不安定な面があったことからアクションプランへの取り組みがままならなかった。

資料 <利用者の状況>

①利用者数

単位：人(延べ数)

項目	年度	総数	前年度比
専用室利用者	27	19,740	94.4%
	26	20,896	
個人入館者	27	17,165	94.7%
	26	18,124	
総入館者	27	36,905	94.5%
	26	39,020	

②行事等の状況

・カラオケ、誕生会

単位：人(延べ数)

月	内 容	参加人数	
		27年度	26年度
4	カラオケ大会、誕生会	60	170
5	カラオケ大会、誕生会	77	65
6	カラオケ大会、誕生会	90	103
7	カラオケ大会、誕生会	93	108
8	カラオケ大会、誕生会	96	97
9	カラオケ大会、誕生会	92	74
10	カラオケ大会(2回)、誕生会	136	101
11	カラオケ大会、誕生会	95	55
12	カラオケ大会、誕生会	88	58
1	カラオケ大会、誕生会、神楽舞	125	89
2	カラオケ大会(2回)、誕生会	203	172
3	カラオケ大会、誕生会	107	108
合 計		1,262	1,200

・上映会

月	内 容	参加人数	
		27年度	26年度
4	二十四の瞳	13	0
5	幸せの黄色いハンカチ	7	0

月	内 容	参加人数	
		27 年度	26 年度
6	十戒	12	0
7	この空の花	11	0
8	聯合艦隊司令長官山本五十六	10	0
9	ショーシャンクの空に	9	10
	毎日がアルツハイマー	15	0
10	天使にラブ・ソングを	6	23
	ベン・ハー	10	0
11	おとうと	11	4
	グリーンマイル	6	0
12	大日本帝国	11	9
	明日の記憶	15	0
1	フラガール	1	7
	ホームアローン	1	0
2	シックスセンス	4	12
	ディア・ドクター	4	0
3	杉原千畝物語	17	11
	あゝ野麦峠	13	0
合 計		176	76

・その他

月	内 容	参加人数	
		27 年度	26 年度
10	おくすり講座、健康相談	0	26
	長岡技大つるかめ会悠久太鼓	0	43
	折り紙教室	10	0
	タバコと肺の健康講座	7	0
12	はかま紙教室	13	7
1	もちつき	0	63
	書初め	4	14
2	豆まき	31	41
3	長岡技術大学吹奏楽部演奏	36	0
合 計		101	194

※この他、希望が丘幼稚園園児の作品2種類（お化け屋敷、日本昔ばなし）を展示。

2. ボランティア・実習生の受け入れ状況

(ボランティアの受け入れ)

単位：人(延べ数)

区 分		27年度	26年度	
長岡市デイサービスセンターふそき	定期	個人ボランティア	235	80
		団体(グループ)ボランティア	145	162
	随時	個人ボランティア	19	22
		団体(グループ)ボランティア	44	64
		保育園・学校等	56	101
	合 計		499	429

(実習生の受け入れ)

受入事業所	区 分	27年度		26年度	
		実人員	延日数	実人員	延日数
長岡市デイサービスセンターふそき	北陸福祉保育専門学院 (小学校教諭普通免許)	4	20	4	20
	北陸福祉保育専門学院 (企業との実践実習)	15	15	11	22
	新潟県社会福祉協議会 (介護等体験)	2	10	7	35
	長岡市総合支援学校	0	0	1	5
	東北福祉大学 (介護体験実習)	1	3	1	5
	長岡こども福祉カレッジ (レクリエーション実習)	9	18	10	20
介護プランセンターふそき	新潟県厚生連中央間保専門学校 在宅看護実習	32	64	0	0
地域包括支援センターふそき	新潟県厚生連中央看護専門学校 在宅看護実習	16	32	12	24
合 計		79	162	46	131

3. 拠点委員会

①感染対策委員会

感染症まん延防止を図り、コンタクトポイント消毒状況の年2回評価や実際に活かして分かりやすい研修にするための工夫などに取り組んだ。事業所単位の日常的消毒もあり、感染対策の意識強化とまん延防止に成果を出した。また、デイ利用者の感染については家族等との連携や情報収集に努め、感染の事実やその恐れがある際は適確な判断と対応により通常のサービス提供体制を維持した。

②労働衛生管理委員会

法人全体で行う健康診断・インフルエンザ予防接種はもとより、ストレスチェック・腰痛予防に拠点独自で取り組み職員の健康の保持増進を図った。ストレスチェックは労働衛生法改正により義務付けとなることを踏まえ、例年用いていたチェック表から厚生労働省のオンラインチェックに変更し職員個々が前年度のチェック事項と同内容の事項を自身で比較した。現状の把握と自己管理の振り返りにより自己ケアの意識を強化できた。

③リスク管理委員会

半期ごとにヒヤリハット発生状況を分析し、発生時ごとの改善策に併せて危険予測と事故防止に反映させた。マニュアルの位置づけが曖昧なことや危険予測意識が希薄であること等が要因となることが少なくないため、全体的な質を上げるための取り組みを検討することが課題となっている。

④身体拘束廃止委員会

改めて身体拘束と拘束による弊害の理解を深めるべく研修を企画・実施し、振り返りシートで83%の理解度を把握した。マニュアルの見直しと周知も行っているが、通所介護では身体拘束の機会が少ないことから意識が薄れがちであるため研修による教育は必須であることを再認識できた。また、集団指導時の高齢者の尊厳保護に関連付けて考えることが望ましいという講演内容も共有し今後活かすこととした。

4. 苦情（意見）内容

デイサービスセンターふそき	①内容	申出人：家族 帰宅すると居間にアンケート用紙が置いてあった。家人不在時に、職員が断りもなしに入室したのではないか。
	想定原因と処理	事実確認し職員が玄関先で用紙を渡し当該ご利用者が居間に置いたことが判明。家族へ直接渡さず利用者へ直接渡してしまったことが原因。苦情受付当日に事実確認とその報告及び配慮が欠けていたことについてお詫びした。
	改善策（結果）	物忘れの症状があるご利用者には連絡文書等は直接渡さず家族へ依頼する。その旨家族へ説明し了解を得た。職員会議において周知した。
	②内容	申出人：本人 担当介護支援専門の訪問時、午後の活動でゲームをしている際「そのくらいできるでしょ」と言われた。自分には難しいゲームであり言葉掛けに配慮が欠けているのではないか。
	想定原因と処理	参加されているご利用者の心情への配慮が欠けた言葉掛けであった。連絡を受け直ぐに家族へのお詫びを行い、事実確認とその結果及び改善への取り組みについて本人・ご家族へ報告した。
	改善策（結果）	対象者の身体状況を十分に把握し心情に配慮した対応を行っていく。接遇や基本的な言葉遣いについて全職員へ再度周知。それについての学習会継続し定期的に開催していく。

【ケアセンター花の里かつぼ】

(1) 特別養護老人ホーム花の里かつぼ

- ・今年度は、退所変動も少なく稼働率の高い維持ができた。介護度度別においても平年と変わらず穏やかな生活環境が迎えられている。

①介護

- ・全ユニットで炊飯、盛り付け、味噌汁作りを行ない、家庭的な雰囲気作りのなか食事の楽しみを増やすことができた。
- ・施設介護サービス計画に基づき、日常生活の支援及び外出や外食、季節に応じた行事（すいか割り、長岡花火見学、花火大会・芋煮会・クリスマス会）を行ない入居者とご家族との信頼関係を深めケアの満足度の向上に繋がった。
- ・法人内及び外部研修を通じ職員のスキルアップおよび意識向上を図ることができた。一方で参加できない職員の伝達研修が徹底されなかったことが課題となった。
- ・居室の設えについてご家族と連携を図り安心して過ごせる環境作りを行うことができた。

②医務

- ・歯科の訪問診療を受けて他職種が連携し口腔ケアの充実に努めた。
- ・医師の指示のもと入居者の健康管理を行い疾病の早期発見、治療につなげることができた。一方で、入居者数名の褥瘡が発生したことが課題となり予防の徹底が図れなかった。
- ・感染予防対策の徹底により施設内での感染症の発症を防ぐことができた。
- ・入居者の嚥下機能維持向上及び身体機能維持向上を図るため、月2回の口腔体操、月2回の体操を行い、体を動かす機会を増やし活気のある生活につなげることができた。一方で、身体機能維持にかかる拘縮予防・褥瘡予防の取り組みが不十分であったので、次年度の課題としたい。

③給食

- ・毎月茶話会を行ない、入居者からの意見や要望を献立や行事食に積極的に取り入れ提供することができた。また、食事満足度調査を実施し、食べたいものや食環境について改善を図り満足度の向上につなげることができた。
- ・施設の畑で野菜作りを行ない、収穫した食材で会食を行ない楽しみにつなげることができた。
- ・地域のそば打ちボランティアから実演会を実施していただき、打ち立てのそばを楽しめた。
- ・七夕会や新年会等の行事食は、ご家族も招き会食を行ない楽しんでいただいた。

資料 1 <入居者の状況>

①入退所状況

単位：人（実数）

入所前の待機場所						
待機場所	在 宅	長期間 ショート	老健等 他施設	病 院	法人グルー プホーム	合 計
27 年度	0	0	1	1	1	3
26 年度	1	0	4	0	1	6

退所の状況					
状 況	在 宅	施設内で死亡 ※1（ ）	病 院	他施設	合計
27 年度	0	3（3）	0	0	3
26 年度	0	6（6）	0	0	6

※1（ ）ターミナルケア計画に基づき、施設内で看取りを実施した数

②年度末介護度別数

単位：人（実数）

年度	介護度	要介護度1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5	合計
	27 年度		0	0	5	8	16
26 年度		0	0	5	8	16	29

③月別利用数

単位：人（延べ数）

27 年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	人数	840	884	861	885	894	869		
	月	10	11	12	1	2	3		
	人数	897	868	899	893	836	893	10,519	99.1
26 年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	人数	870	899	870	894	893	869		
	月	10	11	12	1	2	3		
	人数	898	854	899	880	785	858		

④介護度別利用数

単位：人（延べ数）

27 年度	介護度	1	2	3	4	5	合計	平均介護度
	人数	0	0	1,739	3,005	5,775	10,519	4.39
26 年度	介護度	1	2	3	4	5	合計	平均介護度
	人数	0	0	1,707	3,000	5,762	10,469	4.4

⑤日常生活動作

単位：人（実数）

生活動作尺度	区 分	27 年度	26 年度
移 動	独歩	1	1
	介助・介助具使用	4	4
	車椅子	24	24
食 事	自立・見守り	11	16
	一部介助	10	2
	全介助	6	10
	経管栄養	2	1
排 泄	トイレ 自立	3	3
	一部介助	0	1
	全介助	10	6
	ポータブルトイレ		
	自立	0	0
	一部介助	0	0
	全介助	2	2
	オムツ	13	15
フォーレ	1	2	
入 浴	一般浴（座浴）	18	17
	特浴	11	12

⑥食事形態（平成 28 年 3 月 31 日現在）

単位：食（実数）

主食		副食	
米飯	9	普通	7
おにぎり	0	刻み	6
粥	15	超刻み	11
ミキサー	2	ミキサー	3
パン	1	ムース	0
流動食	2	流動食	2

資料 2 <余暇活動等>

余暇活動の実績

単位：人（延べ数）

月	余暇活動内容	参加人数
4	喫茶	17
5	喫茶	24
	春の花めぐりドライブ	3
	ハイブ長岡外出	4
6	喫茶	12

月	余暇活動内容	参加人数
6	イングリッシュガーデン外出	12
	ホットケーキ作り	3
	たこ焼き作り	10
		9
7	喫茶	21
	アイスパーティー	9
	七夕祭り	29
	外食ランチ（甲羅）	2
8	喫茶	18
	納涼祭	10
	スイカ割り	20
	長岡花火	2
	花の里花火大会	20
	かぼちゃプリン作り	10
	かき氷作り	20
9	喫茶	20
	敬老会	29
	すこやかともしび祭り外出	3
	お好み焼き作り	10
	ホットケーキ作り	9
	ハイブ長岡外出	3
10	喫茶	13
	カラオケ外出	2
	フルーチェ作り	9
	芋煮会	29
	芋掘り	2
	花壇イベント見学	3
	どら焼きパーティー	20
11	喫茶	16
	そば打ち	13
	お好み焼き作り	10
	錦鯉見学と蕎麦ランチ	3
	はぎ喫茶	15
	山本コミセン文化祭	3
12	喫茶	22
	市内イルミネーション見学	6
	クリスマス会	29

月	余暇活動内容	参加人数
12	鏡餅作り	10
1	喫茶	23
	新年会	29
	プリン作り	9
	繭玉作り	10
	ホットケーキ作り	10
	ユニット茶話会	10
2	喫茶	23
	節分	20
	お好み焼きパーティー	10
	はぎ喫茶	15
3	喫茶	23
	ユニット茶話会	28
合 計		732

(2) グループホーム花の里かつぼ

- ・入居者及び家族の意向を汲み取り、地域に目を向け活動環境の拡大を図った。地域に出て役割を持ち活動する事で、学生等外部の方との交流に繋がった。
- ・2か月に1回、地域住民の代表・家族・利用者・地域包括支援センター職員が参加する地域運営推進会議を開催し、地域の方々に事業内容や活動を知って頂く機会を持った。地域で活動する様子に、「町内の事を考え活動して頂きありがたい」「地道な事だけど大事ですね」等感想聞かれた。
- ・新たな地域の活動にも参加し、地域住民との交流の機会が増えた。また、入居者の力を地域で発揮するよう活動し社会との交流が多くなった事で、入居者の生活意欲の向上に繋がった。

資料<入居者の状況>

①入退居の状況

単位：人（実数）

入居前の状況					
状 況	在 宅	長期間 ショート	老健等 他施設	病 院	合 計
27年度	2	0	0	0	2
26年度	4	0	0	0	4
退居の状況					
状 況	在 宅	施設内で死亡	病院入院	特養へ入所 ※1（ ）	合 計
27年度	0	1	0	1（1）	2
26年度	0	3	1	1（1）	5

※1（ ）内は法人内施設への入居された方の数

②年度末介護度別数

単位：人（実数）

年度	介護度	要支援 2	1	2	3	4	5	合計
	27 年度		0	3	4	5	5	1
26 年度		0	4	4	3	5	2	18

③月別利用数

単位：人（延べ数）

27 年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	人数	538	542	540	553	545	540	6,538	
26 年度	月	4	5	6	7	8	9		合計
	人数	529	554	521	541	551	525	6,459	98.0%
人数	551	537	557	555	522	558			
人数	541	538	544	554	504	557			

④年度介護度別数

単位：人（延べ数）

27 年度	介護度	1	2	3	4	5	合計	平均介護度
	人数	1,053	1,454	1,471	1,993	567	6,538	2.94
26 年度	介護度	1	2	3	4	5	合計	平均介護度
	人数	1,374	1,551	1,228	1,773	533	6,459	2.74

⑤余暇活動の実績

単位：人（延べ数）

月	余暇活動内容	参加人数
4	花見ドライブ	14
	出張握り寿司	18
	見附市内ドライブ	5
	高龍神社ドライブ	4
	個別買い物	1
5	山本地区花フェスタ	2
	防災公園ドライブ	2
	駅前プランター活動	3
	個別外出	1
	中越高校寮掃除	4
6	大凧合戦	14
	おはぎ作り（ご家族 5 名、地域 10 名参加）	18
	イングリッシュガーデン	3
	個別外出	1
	中越高校寮掃除	4

月	余暇活動内容	参加人数
7	夏祭り（ご家族 12 名、共用デイ利用者 2 名参加）	18
	かっぱ寿司外食	9
	個別外出	2
	高校野球観戦（うち共用デイ利用者 2 名）	6
	中越高校寮掃除	5
8	イングリッシュガーデン	4
	駅前プランター活動	2
	中越高校寮掃除	3
	納涼祭	17
	山本中学校体育祭	2
	中注高校寮掃除	3
9	長寿を祝う会（ご家族 16 名参加）	18
	すこやかともしび祭り	15
	芋煮会	18
	中越高校寮掃除	5
	外食	1
10	桂保育園運動会	2
	バーベキューミニ行事	18
	山本コミセン文化祭	3
	駅前プランター活動	2
	芋煮会	18
	イングリッシュガーデン	1
	山本中学校音楽祭	3
11	大運動会	18
	大平森林公園紅葉見学	5
	山本コミセン文化祭	6
	中越高校野球部訪問	18
	美容院	3
	外食	1
12	大掃除・忘年会（ご家族 14 名、共用デイ利用者 3 名、共用デイご家族 1 名）	18

月	余暇活動内容	参加人数
	クリスマス会（ご家族4名、地域の方9名）	18
	イルミネーション見学ドライブ	12
	中越高校陸上部訪問	2
	個人外出	2
	中越高校寮掃除	5
1	水穴町賀詞交換会	1
	美容院	2
	中越高校寮掃除	4
2	節分	18
	個人外出	5
	中越高校寮掃除	4
3	中越高校寮掃除	5
	ふれあい食事会	1
	個人外出	2
	美容院	1
合計		420

⑦クラブ活動の実績

クラブ名	実施回数	参加人数
書道教室	11	160 (うち共用デイ利用者30)

(3) デイサービス花の里かつぼ

- ・居宅介護支援事業所と連携を図り、ご利用者・ご家族へ適切なサービスが提供できるよう努めた。GH・DS 合同の行事には、DS 利用者ご家族にも参加頂き、GH の日頃の様子を見て頂いた。また、利用者個々のニーズに沿って個別外出等の日程により利用の声掛けをし、楽しみや張り合いのある生活支援に努めた。
- ・通所介護計画に基づき、家庭的な雰囲気の中で利用者の能力に応じた日常生活動作の継続支援・他余暇活動・外出活動等を実施することができた。

資料<利用者の状況>

①登録者数 単位：人（実数）

区分 年度	長岡市
27年度	6
26年度	6

②利用者数 単位：人（延べ数）

区分 年度	長岡市	稼働日数	1日あたり 平均人数
27年度	666	366	1.88
26年度	666	365	1.34

③月別利用数 ()内は介護予防通所利用数 単位：人(延べ数)

27年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率	
	人数	57 (0)	54 (0)	63 (0)	54 (0)	55 (0)	49 (0)			666 (0)
26年度	月	4	5	6	7	8	9			
	人数	58 (0)	50 (0)	54 (0)	59 (0)	47 (0)	66 (0)	666 (0)	60.8%	
27年度	月	10	11	12	1	2	3			
	人数	57 (0)	54 (0)	63 (0)	54 (0)	55 (0)	49 (0)			666 (0)
26年度	月	10	11	12	1	2	3			
	人数	55 (0)	48 (0)	58 (0)	57 (0)	54 (0)	56 (0)	666 (0)	60.8%	

④介護度別利用者数 単位：人(延べ数)

27年度	介護度	要支援	1	2	3	4	5	合計	平均 介護度
	人数	0	277	195	191	3	0		
26年度	介護度	要支援	1	2	3	4	5	合計	平均 介護度
	人数	0	451	204	10	1	0		

2. ボランティア・実習生等の受け入れ状況

(ボランティアの受け入れ)

単位：人(延べ数)

区 分			27年度	26年度
ケアセンタ ー花の里か つぼ	定期	個人ボランティア	59	14
		団体(グループ)ボランティア	36	30
	随時	個人ボランティア	6	12
		団体(グループ)ボランティア	80	26
		保育園・学校等	167	75
	合 計			348

(実習生の受け入れ)

受入事業所	区 分	27年 度		26年 度	
		実人員	延日数	実人員	延日数
特養花の里 かつぼ グループホーム 花の里かつぼ	長岡こども福祉カレッジ専門 学校 (介護実習)	6	100	5	51
	新潟県社会福祉協議会 (福祉職場体験)	0	0	0	0
	北陸食育フードカレッジ (管理栄養士業務実践実習)	7	28	10	10
	新潟県立長岡聾学校 (高等部現場実習)	0	0	0	0
	新潟県認知症実践者他施設実 習 (認知症実践者研修)	0	0	4	4
合 計		13	128	9	55

3. 拠点委員会

①リスク管理委員会

事故を未然に防ぐため、危険予知トレーニングやヒヤリハットの集計と分析、ヒヤリハット報告書や記録の重要性を伝える為に勉強会を実施し、気づきの感性や職員の事故を未然に防ごうとする意識が高まった。それによりヒヤリハットをあげる際、各部署で要因分析と改善、対策が今まで以上に的確に記入されるようになった。

②食事サービス委員会

美味しく楽しく食事を召し上がっていただくため、月 1 回開催する茶話会の中で食事について話し合い、入居者の嗜好や要望の把握に努めた。実際に上がった要望を献立に組み入れると入居者も喜ばれ、その後の茶話会内での発言も多くなった。しかし、茶話会に参加されない方も多く、そういった方の要望を聞き取る機会が食事満足度調査しか無かったため課題が残った。

③感染委員会

ノロウイルス、インフルエンザについて入居者の感染者はいなかったが、インフルエンザは職員が数名発症した。流行期（11月～3月）には、面会者へ手洗い、うがい、マスク着用の声かけを感染予防に努め感染を防ぐことができた。今後も感染予防に対する意識を高め予防に力を入れていきたい。

④労働衛生委員会

職員の定期健康診断を年 1 回（夜勤者は年 2 回）実施し、有所見者に対しては、主治医受診等して指導を受けてもらった。婦人科健診は希望者全員実施できた。また職員の腰痛予防のために、朝礼時に腰伸ばし腰回し等行い腰痛予防の啓発を行なった。その他入居者の移乗方法等検討し腰に負担がかからないようにしたところ腰痛になる職員は 1 人もいなかった。メンタルヘルス研修を実施し各自ストレスチェックを行ない自分のス

トレスの状態を確認してもらった。今後も職員の健康、腰痛予防、メンタルヘルスに力を入れていきたい。

⑤身体拘束廃止委員会

年2回、身体拘束と虐待防止に関する職員研修会を実施し、身体拘束や虐待に関する意識付けを図ることができた。研修に参加した職員意見として「委員より明確な回答が欲しかった」などが聞かれた。

⑥園芸委員会

花壇整備や花いっぱいコンクールへの参加を中心に活動し、入居者や家族、地域住民から「きれいだね」等の声を頂くことができた。また、水やり分担表を作成し全職員の協力を得て実施し花壇管理を行なうことができた。一方で、芝桜が雑草に負け綺麗に咲くことができず草取り体制をとることができず課題となった。

⑦防災委員会

防災計画に基づき、放送設備訓練・緊急連絡網訓練等の部分訓練をはじめ、年2回の地震・火災を想定した避難訓練や防災教育を実施し職員の意識及びスキル向上を図った。また、避難訓練時は近隣住民も参加し協力体制の確認を行うことができた。

4. 苦情（意見）内容

グループホーム 花の里かつぼ	①内容	申出人：家族 ご家族から内服薬の残量はあるはずだと話があったにも関わらず、職員の確認・連携不足により残量なしと伝え、ご家族に薬の調達を依頼してしまった。
	想定原因 と処理	職員の確認不足と連携ミス。 処理：上記の件について、管理者よりご家族に謝罪した。
	改善策 (結果)	確認方法の見直し・徹底。マニュアルの作成と連携の徹底を図った。

平成27年4月1日～平成28年3月31日

シルバーハウジング稲葉団地

緊急呼出し件数	内容(対応)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	誤報	2	1			1	1	1	1	1			1	1
救急車手配														0
市役所連絡														0
家族連絡														0
医療・福祉機関連絡														0
その他							1		1					2
入退室状況	住替え(施設入所等)													0
	入院等		1		1		1	1	1			1		6
	他界	1												1
	その他													0

苦情(意見)内容

シルバーハウジング千歳	①内容	<p>申出人：入居者</p> <p>生活援助員不在日周知に不足があり金曜日からの連休が多い。また、特定入居者の巡回時滞在時間が長く、他者のプライベートなことも話しているようだ。仕事に対する姿勢に疑問を抱かざるを得ない。</p>
	想定原因と処理	<p>事実確認により、不在周知は掲示により知らせていたが日数にゆとりをもって行っていなかったこと及び特定入居者との長時間な関わりは話し好きな方の傾聴に徹していたがためのことであること等が判明した。</p>
	改善策(結果)	<p>休暇による不在は確定した時点で口頭と掲示によりお知らせすることで周知もれを防止し、生活援助員不在日が続く場合の巡回は本部事務局員が代行する。</p> <p>1世帯の巡回が長びく際は執務室を利用するなどして関係性をオープンにし、全戸平均的に関わり支援する。</p>